



# 目次

---

- 改訂情報
- intra-mart Document Linkについて
- はじめに
  - intra-mart Document Linkと連携したワークフロー作成の流れ
- intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する
  - ワークフロー作成の流れ
  - Forma管理画面の操作
  - ワークフロー管理画面の操作
  - intra-mart Document Link運用管理画面の操作
- IM-BISを使用して intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する
  - ワークフロー作成の流れ
  - IM-BIS管理画面の操作
  - ワークフロー管理画面の操作
  - intra-mart Document Link運用管理画面の操作
- 運用例
  - 複合機でのスキャンと連携したワークフローの運用例
  - QRコード付きの帳票を利用したワークフローの運用例
- 付録
  - intra-mart Document Linkが提供する画面アイテム

## 改訂情報

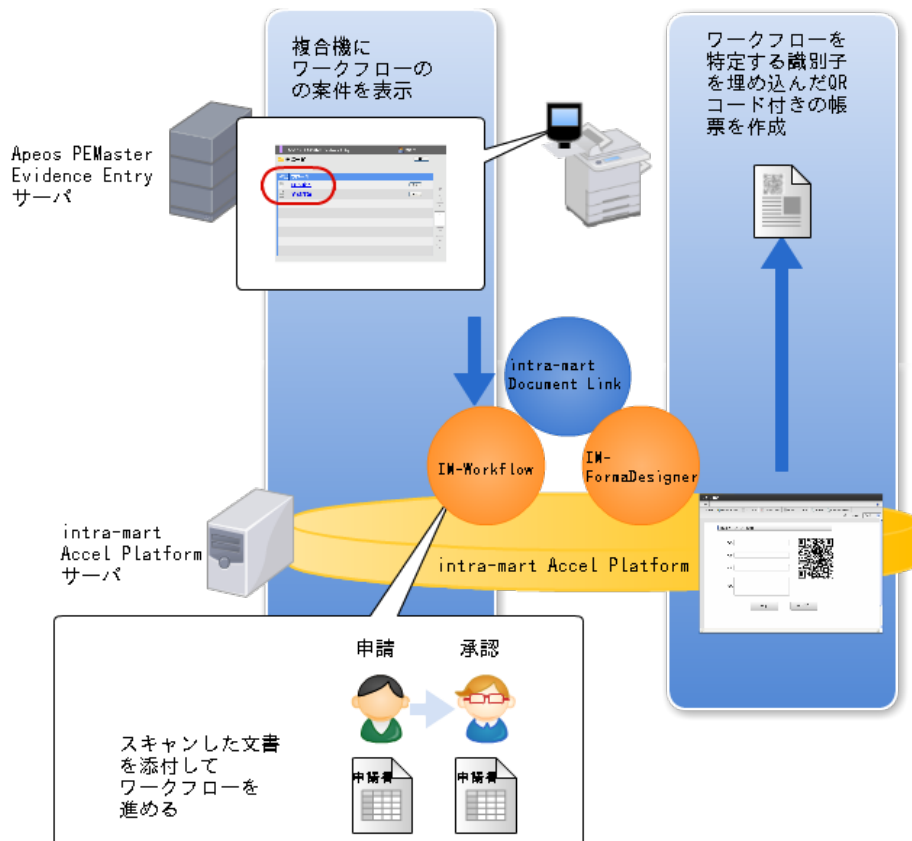
変更年月日	変更内容
2013-04-01	初版
2013-10-01	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">IM-BISを使用して intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する</a>」を追加しました。</li><li>「<a href="#">複合機でのスキャンと連携したワークフローの運用例</a>」の説明を修正しました。</li><li>「<a href="#">QRコード付きの帳票を利用したワークフローの運用例</a>」の説明を修正しました。</li></ul>
2014-07-01	第3版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">付録</a>」を追加しました。</li><li>「<a href="#">intra-mart Document Linkが提供する画面アイテム</a>」を追加しました。</li></ul>
2016-08-01	第4版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"><li>IM-BPM のリリースに伴い、BIS作成種別「BPM」を「BISフロー」に変更しました。</li></ul>

## intra-mart Document Linkについて

intra-mart Document Linkは、intra-mart Accel Platformのワークフローと連携し、複合機でスキャンした文書をワークフローに添付できるソフトウェアです。

intra-mart Document Linkを利用することで、ワークフローを次のように活用できます。

- 複合機にワークフローの案件を表示し、スキャンした文書を添付してワークフローを進められます。
- IM-FormaDesignerで、ワークフローを特定する識別子を埋め込んだQRコード付きの帳票を作成できます。このQRコードを文書の区切りページに使用することで、複数の文書を一度にスキャンして、それぞれ別々のワークフローに添付できます。



## はじめに

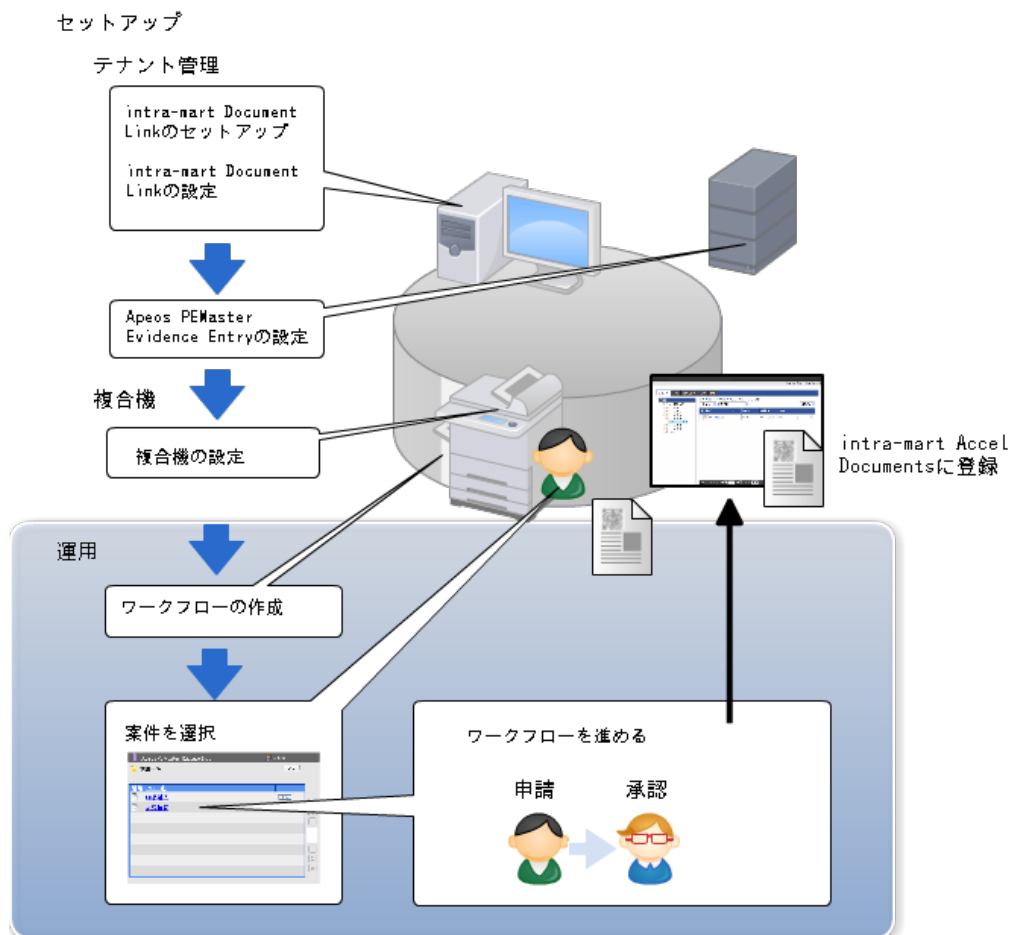
## intra-mart Document Linkと連携したワークフロー作成の流れ

複合機でワークフローの案件を表示したり、スキャンした文書を添付させるために、intra-mart Document Linkをセットアップします。

次に、IM-Workflowで、intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成します。

これによって、複合機の画面からIM-Workflowのワークフロー案件を選択し、スキャンした文書をワークフローの添付文書として、ワークフローを実行できます。

承認されたスキャン文書は、intra-mart Accel Documentsに登録できます。



## intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する

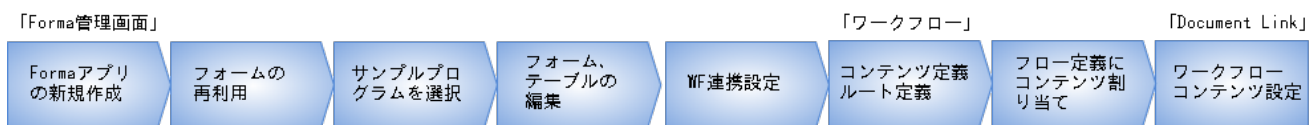
intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成するために必要な設定について説明します。

## 目次

- ワークフロー作成の流れ
- Forma管理画面の操作
- ワークフロー管理画面の操作
- intra-mart Document Link運用管理画面の操作

## ワークフロー作成の流れ

次の流れで、IM-FormaDesignerとIM-Workflowを使用して、intra-mart Document Linkとの連携を設定したワークフローを作成します。



## i コラム

intra-mart Document Link管理のワークフローコンテンツ設定を実行できるロールは、初期状態では次のロールに設定されています。

- テナント管理者
- Document Link管理者
- IM-Workflow管理者

## Forma管理画面の操作

1. Webブラウザで、一般ユーザログイン画面から、intra-mart Accel Platform にFormaアプリケーションの作成権限を持つユーザでログインします。
2. 「サイトマップ」→「Forma管理画面」→「Formaアプリ作成」→「アプリ一覧」をクリックします。
3. 「登録」をクリックします。
4. アプリケーション種別に「IM-Workflow」を選択し、その他のテキストボックスに適切な値を入力して、「登録」をクリックします。
5. メッセージの内容を確認して、「決定」をクリックします。
6. 「フォーム編集」画面が表示されます。
7. 「再利用」をクリックします。
8. アプリケーションIDに「sample\_document\_link\_purchase」を入力して、「検索」をクリックします。
9. フォームのラジオボタンをクリックします。

選択	プレビュー	フォーム名	アプリケーションID	アプリケーション名	アプリケーション履歴番号
<input checked="" type="radio"/>		メインフォーム	sample_document_li	【サンプル】物品購入 - スキ	1



## i コラム

このサンプルを利用するには、intra-martのテナント環境セットアップで、サンプルデータセットアップが必要です。手順の詳細は、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「テナント環境の構築」を参照してください。

10. 「フォーム編集」画面が表示されます。
11. 必要に応じて、フォームを編集します。

### コラム

- フォームを編集するときは、「ツールキット」をクリックし、表示されているアイテムから、利用するアイコンをフォーム上へドラッグします。
- 現在表示されているフォームの項目名を変更したり、配置を変えたりもできます。


- 「更新」をクリックします。
- メッセージを確認して、「決定」をクリックします。
- フォームを設定できました。
-  をクリックして、「フォーム一覧」画面に戻ります。
-  をクリックして、「フォーム設定」画面に戻ります。
- 「テーブル設定」タブをクリックします。
- 「登録」をクリックします。
- フォームで使用している項目の「データサイズ」または「データサイズ（小数部）」に、必要な値を入力して、「登録」をクリックします。

### コラム

次の項目の値は次のようにしてください。

キャビネットID:20（データサイズ）  
 フォルダID:100（データサイズ）  
 クラスID:100（データサイズ）  
 申請者登録設定:10:0（データサイズ:データサイズ（小数部））

- メッセージを確認して、「決定」をクリックします。
- テーブルを設定できました

22. 「WF連携設定」タブをクリックします。
23. 「WF連携設定」画面で、「登録」をクリックします。
24. 「連携情報」画面で、必要な情報を入力します。
25. 「登録」をクリックします。
26. メッセージを確認して、「決定」をクリックします。
27.  をクリックして、「WF連携設定」画面に戻ります。
28. WF連携を設定できました。
29. 続いて、ワークフローを作成します。

## ワークフロー管理画面の操作

### コンテンツ定義

1. Webブラウザで、一般ユーザログイン画面から、intra-mart Accel Platform にIM-Workflowの管理権限を持つユーザでログインします。
2. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「コンテンツ定義」をクリックします。
3. WF連携設定で登録したコンテンツの  アイコンをクリックします。
4. 「バージョン」タブをクリックします。
5.  アイコンをクリックします。
6. 「ユーザプログラム」タブをクリックします。
7. 「新規作成」をクリックします。
8. intra-mart Document Link用の次のプログラムを作成し、「登録」をクリックします。

プログラム名	document_link apply action
プラグイン種別	アクション処理
対象ノード	申請ノード
プラグイン種類	【アクション処理】JavaEE開発モデル
プログラムパス	jp.co.fujixerox.kiun.cap.connector.listener.DocumentLinkActionProcessEventListener
実行順序	3

9. 「新規作成」をクリックします。
10. intra-mart Document Link用の次のプログラムを作成し、「登録」をクリックします。

プログラム名	document_link approve action
プラグイン種別	アクション処理
対象ノード	承認ノード
プラグイン種類	【アクション処理】JavaEE開発モデル
プログラムパス	jp.co.fujixerox.kiun.cap.connector.listener.DocumentLinkActionProcessEventListener
実行順序	3

11. 「新規作成」をクリックします。
12. intra-mart Document Link用の次のプログラムを作成し、「登録」をクリックします。

プログラム名	document_link apply arrival
プラグイン種別	到達処理



対象ノード	申請ノード
プラグイン種類	【到達処理】JavaEE開発モデル
プログラムパス	jp.co.fujixerox.kiun.cap.connector.listener.DocumentLinkArriveProcessEventListener
実行順序	1

- 「新規作成」をクリックします。
- intra-mart Document Link用の次のプログラムを作成し、「登録」をクリックします。

プログラム名	document_link approve arrival
プラグイン種別	到達処理
対象ノード	承認ノード
プラグイン種類	【到達処理】JavaEE開発モデル
プログラムパス	jp.co.fujixerox.kiun.cap.connector.listener.DocumentLinkArriveProcessEventListener
実行順序	1

- 「新規作成」をクリックします。
- intra-mart Document Link用の次のプログラムを作成し、「登録」をクリックします。

プログラム名	document_link cancel
プラグイン種別	未完了案件削除
プラグイン種類	【未完了案件削除処理】JavaEE開発モデル
プログラムパス	jp.co.fujixerox.kiun.cap.connector.listener.DocumentLinkWorkflowActvMatterDeleteListener
実行順序	1



#### コラム

プログラム名は、日本語、英語、中国語をそれぞれ入力する必要があります（同じ名前を入力します）。

## ルート定義

申請から承認までの処理の流れをもつルート定義を作成します。



#### コラム

ルート定義を作成する手順の詳細は、「[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。



#### 注意

intra-mart Accel Documentsに文書登録をするルート定義には、「承認ノード」が必要です。  
 スキャン文書を添付したり、intra-mart Accel Documentsに登録する属性値のフィールド値を編集したりする承認ノードと、intra-mart Accel Documentsに文書を登録する承認ノードを、同じ承認ノードに設定しないでください。

## フロー定義

- 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「フロー定義」をクリックします。
- 「新規作成」をクリックします。
- フローIDとフロー名を入力して、「登録」をクリックします。  
 ここで入力したフロー名が、複合機のメニュー画面に案件として表示されます。
- 「フロー定義-編集」画面で、「新規作成」をクリックします。
- プログラムを定義したコンテンツおよびルートをフロー定義に割り当てます。

**コラム**

コンテンツおよびルートフローを定義に割り当てる手順の詳細は、「IM-Workflow管理者操作ガイド」を参照してください。

6. 続いて、intra-mart Document Link管理画面の操作をします。

**コラム**

IM-Workflow で申請した案件を複合機の「未処理一覧」メニューに表示させる場合は、次の設定をします。

- 「基本情報」タブ：「ファイルの添付」で「有効」を選択
- 「ルート詳細」タブ：「承認ノード」をダブルクリックして、「ファイルの添付」の「追加禁止」のチェックマークを外す

## intra-mart Document Link運用管理画面の操作

### ワークフローコンテンツの設定

intra-mart Document Linkと連携するワークフローに割り当てるコンテンツ定義を設定します。

ここで設定したコンテンツ定義を割り当てたフローの一覧が、複合機の「申請一覧」画面に、コンテンツ定義を設定したフローから申請した案件が「未処理一覧」画面に表示されます。

1. Webブラウザで、一般ユーザログイン画面から、intra-mart Accel Platform に「Document Link管理者」ロールを持つユーザでログインします。
2. 「サイトマップ」→「Document Link」→「Document Link管理者」→「ワークフローコンテンツ設定」をクリックします。
3. intra-mart Document Linkで使用するコンテンツ定義のチェックボックスをクリックします。

Document Link管理

Evidence Entryで選択対象とするワークフローのコンテンツ定義を設定します。

ワークフローコンテンツ設定

コンテンツID  検索文字列を指定してください。

選択対象	コンテンツID	コンテンツ名
<input checked="" type="checkbox"/>	sample_contents	sample_contents

登録 解除

3ページ中 9 ページ目 10 21件中 21 - 21 を表示

**コラム**

一覧には、IM-Workflowのコンテンツ定義がすべて表示されます。

コンテンツ定義を絞り込む場合は、検索文字列を入力して、「検索」をクリックします。

4. 「登録」をクリックします。

Document Link管理

**i** Evidence Entryで選択対象とするワークフローのコンテンツ定義を設定します。

ワークフローコンテンツ設定

コンテンツID  検索

選択対象	コンテンツID	コンテンツ名
<input checked="" type="checkbox"/>	sample_contents	sample_contents


3ページ中 1 ページ目 10 21件中 21 - 21を表示

登録 解除

5. メッセージを確認して、「決定」をクリックします。

以上で、intra-mart Document Linkと連携したワークフローが作成できました。

### **i** コラム

- intra-mart Document Linkと連携したワークフローのコンテンツ定義は、選択対象に  が表示されます。
- intra-mart Document Linkとワークフローとの連携を解除したい場合は、解除するコンテンツ定義のチェックボックスをクリックして、「解除」をクリックします。連携を解除したコンテンツ定義のフローは、複合機の「申請一覧」画面に表示されなくなります。

# IM-BISを使用して intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する

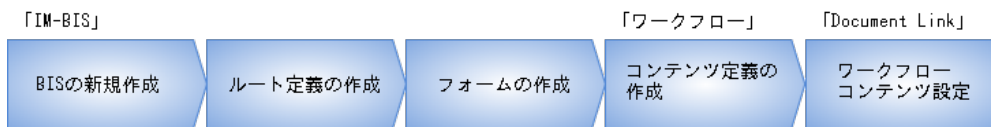
IM-BISを使用して intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成するために必要な設定について説明します。

## 目次

- ワークフロー作成の流れ
- IM-BIS管理画面の操作
- ワークフロー管理画面の操作
- intra-mart Document Link運用管理画面の操作

## ワークフロー作成の流れ

次の流れで、IM-BISを使用して、intra-mart Document Linkとの連携を設定したワークフローを作成します。



### i コラム

intra-mart Document Link管理のワークフローコンテンツ設定を実行できるロールは、初期状態では次のロールに設定されています。

- テナント管理者
- Document Link管理者
- IM-Workflow管理者

## IM-BIS管理画面の操作

1. Webブラウザで、一般ユーザログイン画面から、intra-mart Accel Platform にIM-BISの作成権限を持つユーザでログインします。
2. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「システム管理者」→「IM-BIS作成」→「IM-BIS」をクリックします。
3. 「新規登録」をクリックします。
4. ルート作成方法で「新規にルートを作成する」を選択し、その他のテキストボックスに適切な値を入力して、「登録」をクリックします。

### i コラム

BIS作成種類は、「BISフロー」と「ワークフロー（WF）」のどちらを選択しても、intra-mart Document Linkと連携可能なBISを作成できます。

5. 「ルート定義－バージョン－新規作成」画面が表示されます。
6. 申請から承認までの処理の流れを持つルート定義を作成して、「登録」をクリックします。

### ! 注意

intra-mart Accel Documentsに文書登録をするルート定義には、「承認／処理」ノードが必要です。スキャン文書を添付したり、intra-mart Accel Documentsに登録する属性値のフィールド値を編集したりする「承認／処理」ノードと、intra-mart Accel Documentsに文書を登録する「承認／処理」ノードを、同じ「承認／処理」ノードに設定しないでください。

7. 「IM-BIS－フロー編集」画面が表示されます。
8. 「申請／処理開始」ノードを右クリックして、「画面」→「新規」をクリックします。
9. 「登録」をクリックします。

10. 「フォーム編集」画面が表示されます。


11. フォームを作成して、「更新」をクリックします。

### コラム

- フォームを作成するには、「ツールキット」をクリックし、表示されているアイテムから、利用するアイコンをフォーム上へドラッグします。
- 次のサンプル「sample\_document\_link\_purchase」を例にして、フォームを作成してください。



12. メッセージを確認して、「決定」をクリックします。

13. Webブラウザの  をクリックします。

14. 「申請／処理開始」ノードを右クリックして、「画面」→「共有」をクリックします。

15. 「承認／処理」ノードを右クリックして、「画面」→「貼り付け」をクリックします。

### コラム

「申請／処理開始」ノードと「承認／処理」ノードで、別のフォームを設定する場合

「承認／処理」ノードを右クリックして、「画面」→「新規」をクリックしてください。  
以降の手順は、「申請／処理開始」ノードでフォームを作成した手順と同様です。

16. 「定義の反映」をクリックします。

17.  をクリックして、「IM-BIS-更新履歴」画面に戻ります。

18. BIS定義を作成できました。


19. 続いて、コンテンツ定義を作成します。

## ワークフロー管理画面の操作

### コンテンツ定義

作成したBIS定義と同じ名前のコンテンツに、intra-mart Document Link用のユーザプログラムを登録します。

**i** コラム

- 「コンテンツ定義」画面で、作成したBIS名と同じコンテンツ名の  アイコンをクリックしてください。
- 手順の詳細は、「intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する」-「ワークフロー管理画面の操作」-「[コンテンツ定義](#)」を参照してください。

続いて、ワークフローコンテンツの設定をします。

## intra-mart Document Link運用管理画面の操作

### ワークフローコンテンツの設定


intra-mart Document Linkと連携するワークフローに、作成したBIS定義と同じ名前のコンテンツ定義を割り当てます。ここでコンテンツ定義を割り当てたフローの一覧が、複合機の「申請一覧」画面に、コンテンツ定義を割り当てたフローから申請した案件が「未処理一覧」画面に表示されます。

**i** コラム

- 「ワークフローコンテンツ設定」画面で、作成したBIS名と同じコンテンツ名のチェックボックスをクリックしてください。
- 手順の詳細は、「intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する」-「[intra-mart Document Link運用管理画面の操作](#)」を参照してください。

以上で、intra-mart Document Linkと連携したワークフローが作成できました。

**i** コラム

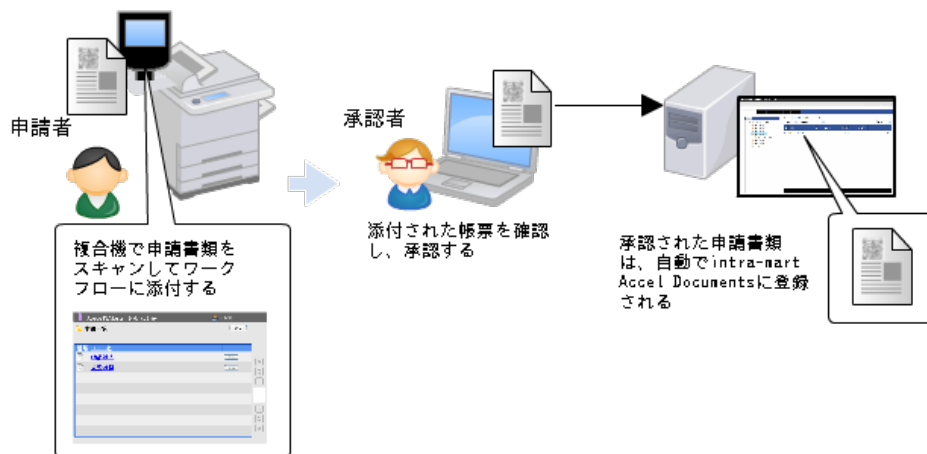
- intra-mart Document Linkと連携したワークフローのコンテンツ定義は、選択対象に  が表示されます。
- intra-mart Document Linkとワークフローとの連携を解除したい場合は、解除するコンテンツ定義のチェックボックスをクリックして、「解除」をクリックします。連携を解除したコンテンツ定義のフローは、複合機の「申請一覧」画面に表示されなくなります。

## 運用例

### 複合機でのスキャンと連携したワークフローの運用例

次の運用例を説明します。

- 申請者が、複合機で申請書類をスキャンしてワークフローに添付する。
- 承認者が承認する。
- 承認された申請書類は、自動で intra-mart Accel Documentsの登録先フォルダに登録される。



#### 注意

intra-mart Accel Documentsに登録できるのは、案件に添付されている文書ファイル1つだけです。複数の文書が案件に添付されているときは、どれか1つの文書ファイルが intra-mart Accel Documentsに登録されます。どの文書ファイルが登録されるかは不定です。

### ワークフローを作成する

ここでは、フォームにサンプル「sample\_document\_link\_purchase」を利用してワークフローを作成する手順を説明します。

#### コラム

サンプル「sample\_document\_link\_purchase」は、IM-FormaDesignerとIM-Workflowを使用してワークフローを作成する場場合に利用できます。

1. intra-mart Document Linkと連携したFormaアプリケーションを作成します。

#### コラム

手順の詳細は、「intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する」 - 「[Forma管理画面の操作](#)」を参照してください。

2. 「フォーム編集」画面で、フォームを編集します。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 H ヘッダーとフッター ツールキット アイテムコピー 日本語

物品購入 - スキャン文書添付

品名:

数量:

金額:

備考:

添付ファイル

ファイル名	サイズ	登録者	登録日時

申請 一時保存

文書名:

キャビネットID:

フォルダID:

クラスID:

申請者登録設定:

3. 文書名をダブルクリックします。
4. 「詳細設定」タブのフィールド初期値に、文書名を入力します。  
ここで入力した文書名が、スキャン文書のファイル名になります。



フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 H ヘッダーとフッター ツールキット アイテムコピー 日本語

物品購入 - スキャン文書添付

品名:

数量:

金額:

備考:

添付ファイル

ファイル名	サイズ

申請

文書名: Attachment

キャビネットID:

フォルダID:

クラスID: kn-document

申請者登録設定:

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください

フィールド識別ID \* doc\_link\_document\_name

フィールド識別名 \* 文書名

フィールド値DB登録

フィールド初期値 添付文書

ラベル幅 \* 200

フィールド幅 \* 350

アイテム名 \* item\_document\_name

表示タイプ

アイテムサイズ・配置

5. キャビネットIDをダブルクリックします。
6. 「詳細設定」タブのフィールド初期値に、intra-mart Accel Documentsの登録先フォルダのIDを入力します。  
例えば、フォルダのURLが「<http://example/imart/acceldocuments/rep/storage/list/1000000#st-kn-folder-327>」の場合、キャビネットIDは「1000000」です。

7. フォルダIDをダブルクリックします。
8. 「詳細設定」タブのフィールド初期値に、intra-mart Accel Documentsの登録先フォルダのIDを入力します。  
例えば、フォルダのURLが「<http://example/imart/acceldocuments/rep/storage/list/1000000#st-kn-folder-327>」の場合、フォルダIDは「kn-folder-327」です。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 H ヘッダーとフッター ツールキット アイテムコピー 日本語

物品購入 - スキャン文書添付

品名:

数量:

金額:

備考:

添付ファイル

ファイル名	サイズ

申請

文書名: 添付文書

キャビネットID: 1000000

フォルダID:

クラスID: kn-document

申請者登録設定:

QRコード

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID *	doc_link_folder_id
フィールド識別名 *	フォルダID
フィールド値DB登録	<input checked="" type="checkbox"/>
フィールド初期値	kn-folder-327
ラベル幅 *	200
フィールド幅 *	350
アイテム名 *	item_folder_id

▶ 表示タイプ

▶ アイテムサイズ・配置

9. 申請者登録設定をダブルクリックします。
10. 文書管理に「申請者」の権限で文書を登録するときは、「詳細設定」タブのフィールド初期値に「1」を入力します。承認者権限で文書を登録するときは、「0」のままにします。



11. テーブルを設定します。

「テーブル作成」画面で、フォームで使用している項目のデータサイズまたはデータサイズ（小数部）を設定します。

**i** コラム

手順の詳細は、「intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する」-「[Forma管理画面の操作](#)」を参照してください。

12. WF連携を設定します。

「連携設定」画面で、コンテンツIDを登録します。

**i** コラム

手順の詳細は、「intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する」-「[Forma管理画面の操作](#)」を参照してください。

13. コンテンツ定義を作成します。

intra-mart Document Link用のユーザプログラムを登録します。

**i** コラム

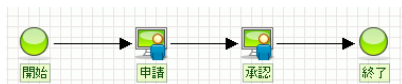
手順の詳細は、「intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する」-「[ワークフロー管理画面の操作](#)」を参照してください。

14. 文書を登録するための次のプログラムを作成し、「登録」をクリックします。

プログラム名	documents register action
プラグイン種別	アクション処理
対象ノード	承認ノード
プラグイン種類	【アクション処理】JavaEE開発モデル
プログラムパス	jp.co.fujixerox.kiun.repository.web.service.ImUploadApplyActionProcessService

初期使用	チェックマークを外します
実行順序	4


15. ルート定義を作成します。  
例えば次のようなルート定義を作成します。



16. 作成したコンテンツおよびルート(IM-Workflow)のフロー定義に割り当てます。  
17. 「ルート詳細」タブをクリックします。  
18. 文書を登録する「承認ノード」をダブルクリックします。

### コラム

承認ノードが複数ある場合は、通常は最後の承認ノードに文書を登録する処理を設定します。

19. アクション動作処理の「標準から変更する」をクリックします。  
20. 「検索」をクリックします。  
21. 「documents register action」の  アイコンをクリックします。







22. 「登録」をクリックします。  
23. intra-mart Document Link管理画面で、ワークフローに定義するコンテンツIDを設定します。

### コラム

手順の詳細は、「intra-mart Document Linkと連携したワークフローを作成する」 - 「[intra-mart Document Link運用管理画面の操作](#)」を参照してください。

## コラム

文書の登録と同時にユーザ定義の属性を登録するときは、次の設定をします。

1. intra-mart Accel Documentsで、属性を作成します。  
例えば、「customer」という属性を作成します。
2. クラス定義の「使用可能属性」に、1で作成した属性を割り当てます。
3. ワークフロー管理の案件プロパティ定義に、手順1で作成した属性を登録します。  
例えば、定義属性「customer」を作成した場合は、案件プロパティに「knc\_attr-customer」を登録します。  
なお、案件プロパティの型は、必ず文字列にします。
4. アプリケーション一覧で、作成したFormaアプリケーションの  アイコンをクリックします。
5. 「フォーム設定」タブで  アイコンをクリックします。
6. 「フォーム一覧」タブで、フォーム編集の  アイコンをクリックします。
7. クラスIDのフィールド初期値に、手順2で属性を割り当てたクラス定義のIDの値を入力します。  
この場合、クラスIDは、クラス定義の「:」を「-」に置き換えてください。  
例えば、クラス定義のIDが「knc\_doc:customerclass」の場合は、「knc\_doc-customerclass」と入力します。  
手順2でクラス定義を新規作成しないで、既存の「文書」クラスに追加した場合は、この手順は不要です。
8. 「WF連携設定」タブで  アイコンをクリックします。
9. 「案件プロパティ」タブで、「登録」をクリックします。
10. 次の設定をします。  
フローID/ノードID：「検索」アイコンをクリックし、フローとノードを指定する  
案件プロパティキー：手順3で登録した名前を選択する  
項目ID：文書管理に登録する属性項目を選択する
11. 「登録」をクリックします。

登録した属性は、文書を登録したキャビネットの「検索」タブの検索条件にできます。

属性で検索する操作については、「[intra-mart Accel Documents ユーザ操作ガイド](#)」を参照してください。

## ワークフローを実行する

ワークフローの実行には、複合機でワークフローを選択して文書をスキャンする「登録先を選択して登録」と、複合機で文書をスキャンするだけの「区切りシートを使用して登録」とがあります。

ここでは、「登録先を選択して登録」の手順を説明します。

## コラム

「区切りシートを使用して登録」の手順は、「QRコード付きの帳票を利用したワークフローの運用例」-「[ワークフローを実行する](#)」を参照してください。

1. 複合機の操作パネルで「外部アクセス」アイコンを押します。
2. リストから接続先を選択します。
3. ユーザーID、パスワードを入力して、「ログイン」を押します。

4. 「登録先を選択して登録」メニューを選択します。

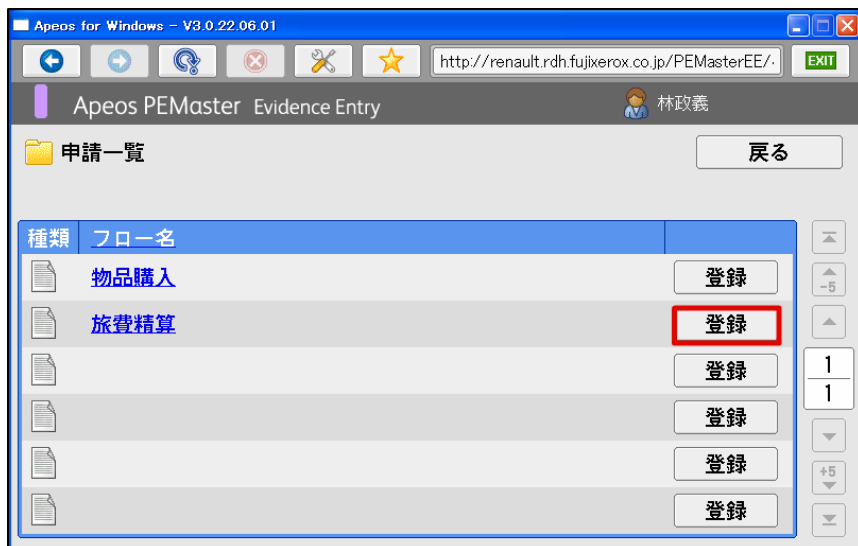
5. 「申請一覧」を選択します。

### **i** コラム

ワークフローを申請する場合は「申請一覧」を選択します。


「未処理一覧」には、承認待ちのワークフロー案件のうち、ファイルの追加が可能な案件が表示されます。

6. 申請したい案件の「登録」を押します。



### コラム

案件の入力フィールドに値を設定する場合は、フロー名を押します。

7. 複合機の操作パネルに表示されるメニューに従って、スキャンを実行します。
8. Webブラウザで、一般ユーザログイン画面から、intra-mart Accel Platform にワークフローの承認権限のあるユーザでログインします。
9. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。
10. 処理したい案件の  アイコンをクリックします。
11. 必要な情報を確認して、「承認」をクリックします。



12. 必要な情報を確認して、「承認」をクリックします。



処理 [承認]

処理種別 \* 承認

案件番号 0000000080

案件名 旅費精算-20130130

申請情報

申請者	林政義
申請基準日	2013/01/30
申請日	2013/01/30

処理者 \* tenant

担当組織 \* サンプル部門01

添付ファイル

ファイル名	サイズ	登録者	登録日時	クリア
添付文書.pdf	479 KB	林政義	2013/01/30 14:13	

承認

### i コラム

添付ファイルの「添付文書.pdf」をクリックすると、複合機でスキャンした帳票の内容が確認できます。

13. 承認された文書が intra-mart Accel Documentsに登録されます。



## QRコード付きの帳票を利用したワークフローの運用例

intra-mart Document Linkを利用すると、Formaアプリケーションでフォームを編集するとき、ワークフローを特定する識別子を埋め込んだ「QRコード」アイテムを選択して、帳票を作成することができます。



#### コラム

サンプル「sample\_document\_link\_purchase」には、QRコードが付いています。

QRコード付きの帳票を印刷することで、文書の区切りページとして使用することができます。

例えば、文書の区切りページを使用すると、複数の文書を複合機で一度にスキャンして、それぞれ別のワークフローに添付することができます。

### ワークフローを作成する

サンプル「sample\_document\_link\_purchase」を利用して、ワークフローを作成します。



#### コラム

手順の詳細は、「複合機でのスキャンと連携したワークフローの運用例」-「[ワークフローを作成する](#)」を参照してください。

### ワークフローを実行する

1. Webブラウザで、QRコード付きの帳票を印刷します。



#### 注意

QRコード付きの帳票を印刷するときは、ワークフローの申請画面、または承認画面を表示して、その画面をWebブラウザの印刷機能で印刷してください。

1. 複合機の操作パネルで「外部アクセス」アイコンを押します。
2. リストから接続先を選択します。
3. ユーザーID、パスワードを入力して、「ログイン」を押します。

4. 「区切りシートを使用して登録」メニューを選択します。

5. 複合機の操作パネルに表示される内容に従って、スキャンを実行します。
6. Webブラウザで、一般ユーザログイン画面から、intra-mart Accel Platform にワークフローの承認権限のあるユーザでログインします。
7. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。
8. 処理したい案件の  アイコンをクリックします。
9. 必要な情報を確認して、「承認」をクリックします。

添付ファイル			
ファイル名	サイズ	登録者	登録日時
 添付文書.pdf	479 KB	林政義	2013/01/30 14:13

10. 必要な情報を確認して、「承認」をクリックします。



**i コラム**  
添付ファイルの「添付文書.pdf」をクリックすると、複合機でスキャンした帳票の内容が確認できます。

11. 承認された文書が intra-mart Accel Documentsに登録されます。



## 付録

## intra-mart Document Linkが提供する画面アイテム

## アプリケーション種別「IM-Workflow」で利用できる画面アイテム

## QRコード

画面アイテム「QRコード」は、intra-mart Document Linkで使用するQRコードを表示するためのアイテムです。  
本アイテムを使用することで複合機からスキャンされたファイルをワークフローの添付ファイルとすることができます。

## アイテム

## アイテム名

同一フォーム内で画面アイテムを識別するための名前を指定します。

## 画面の種類（行項目）

1. 申請  
ワークフローの申請画面の時の表示タイプを設定します。
2. 再申請  
ワークフローの再申請画面の時の表示タイプを設定します。
3. 承認  
ワークフローの承認画面の時の表示タイプを設定します。
4. 参照  
ワークフローの確認・参照画面等の表示タイプを設定します。

## 表示・入力タイプ（列項目）

1. 表示  
html上に画面アイテムを存在させます。
2. 非表示  
html上に画面アイテムを存在させません。

## 表示タイプ：表示



## 表示スタイル

## アイテムサイズ・配置

フォーム内での表示の位置・高さ・幅を指定します。

## 幅

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の横の長さ(幅)をピクセル単位で指定します。

## 高

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の縦の長さ(高さ)をピクセル単位で指定します。

## X

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の左上頂点のフォーム左上からの横位置をピクセル単位で指定します。

## Y

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の左上頂点のフォーム左上からの縦位置をピクセル単位で指定します。

## アプリケーション種別「BIS-BISフロー」で利用できる画面アイテム

### QRコード

画面アイテム「QRコード」は、intra-mart Document Linkで使用するQRコードを表示するためのアイテムです。  
本アイテムを使用することで複合機からスキャンされたファイルをワークフローの添付ファイルとすることができます。

#### アイテム

##### アイテム名

同一フォーム内で画面アイテムを識別するための名前を指定します。

##### 画面の種類 (行項目)

1. 処理  
BISフローの処理画面の時の表示タイプを設定します。
2. 参照  
BISフローの参照画面の時の表示タイプを設定します。

##### 表示・入力タイプ (列項目)

1. 表示  
html上に画面アイテムを存在させます。
2. 非表示  
html上に画面アイテムを存在させません。

表示タイプ: 表示



#### 表示スタイル

##### アイテムサイズ・配置

フォーム内での表示の位置・高さ・幅を指定します。

##### 幅

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の横の長さ(幅)をピクセル単位で指定します。

##### 高

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の縦の長さ(高さ)をピクセル単位で指定します。

##### X

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の左上頂点のフォーム左上からの横位置をピクセル単位で指定します。

##### Y

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の左上頂点のフォーム左上からの縦位置をピクセル単位で指定します。

## アプリケーション種別「BIS-ワークフロー」で利用できる画面アイテム

### QRコード

画面アイテム「QRコード」は、intra-mart Document Linkで使用するQRコードを表示するためのアイテムです。  
本アイテムを使用することで複合機からスキャンされたファイルをワークフローの添付ファイルとすることができます。

## アイテム

### アイテム名

同一フォーム内で画面アイテムを識別するための名前を指定します。

### 画面の種類（行項目）

1. 申請  
ワークフローの申請画面の時の表示タイプを設定します。
2. 再申請  
ワークフローの再申請画面の時の表示タイプを設定します。
3. 承認  
ワークフローの承認画面の時の表示タイプを設定します。
4. 参照  
ワークフローの確認・参照画面等の表示タイプを設定します。

### 表示・入力タイプ（列項目）

1. 表示  
html上に画面アイテムを存在させます。
2. 非表示  
html上に画面アイテムを存在させません。

表示タイプ：表示



## 表示スタイル

### アイテムサイズ・配置

フォーム内での表示の位置・高さ・幅を指定します。

#### 幅

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の横の長さ(幅)をピクセル単位で指定します。

#### 高

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の縦の長さ(高さ)をピクセル単位で指定します。

#### X

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の左上頂点のフォーム左上からの横位置をピクセル単位で指定します。

#### Y

画面アイテムとして指定した領域(「フォーム・デザイナー」画面上で赤い点線で囲まれる範囲)の左上頂点のフォーム左上からの縦位置をピクセル単位で指定します。

